

質問に対する回答について
工事名) 仙台北部道路 富谷工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>工事用道路 防草シート数量について</p> <p>左記項目の各工事用道路別の平坦部および斜面部内訳数量をご提示ください。</p>	<p>防草シート設置工の各数量の内訳は、下記のとおりとなります。</p> <p>①-2 平面部：87.2㎡ 法面部：53.3㎡</p> <p>①-3 平面部：106.8㎡ 法面部：60.9㎡</p> <p>①-4 平面部：119.1㎡ 法面部：63.0㎡</p> <p>②-4 平面部：127.0㎡ 法面部：126.2㎡</p> <p>⑤-2 平面部：125.3㎡ 法面部：97.3㎡</p> <p>⑦ 平面部：153.8㎡ 法面部：72.2㎡</p> <p>⑨ 平面部：60.6㎡ 法面部：43.4㎡</p> <p>⑩-2 平面部：83.7㎡ 法面部：52.5㎡</p> <p>⑪-2 平面部：490.1㎡ 法面部：137.0㎡</p> <p>なお、上記の内容について、後日交付図書を訂正いたします。</p> <p>防草シート撤去工の各数量の内訳は、設計図 5詳細図 66/190を参照のうえ、算出ください。</p>

2	<p>特記仕様書 27-9 補強土壁工</p> <p>補強土壁工 ジオテキスタイル補強土壁 Aの支払に、「壁面材の組立・設置、パネル付属部材、水平排水材及び吸出し防止材の設置、壁面材鋼製枠の設置、補強材の敷設・取付け、結合等ジオテキスタイル補強土壁 Aの施工に要する材料、労力、機械器具等」とありますが、図面に壁面材がありません。壁面材はないものとして見積すればよろしいでしょうか。</p>	<p>補強土壁工 ジオテキスタイル補強土壁 Aについて、壁面材の組立・設置、パネル付属部材は含まないものとしてお見積ください。交付図書の一部に誤りがありましたので、後日訂正いたします。</p>
3	<p>特記仕様書 27-9 補強土壁工</p> <p>補強土壁工 ジオテキスタイル補強土壁 Bの支払に、「壁面材の組立・設置、パネル付属部材、縦目地シート、水平排水材及び吸出防止材の設置、壁面材の設置、補強材の敷設・取付け、結合、壁面背面排水層、笠コンクリート等ジオテキスタイル補強土壁Bの施工に要する材料、労力、機械器具等」とありますが、壁面材の設置は壁面材鋼製枠と読み替えて理解すればよろしいですか。</p>	<p>補強土壁工 ジオテキスタイル補強土壁 Bについて、壁面材の設置は鋼製枠の設置と読み替えてください。交付図書の一部に誤りがありましたので、後日訂正いたします。</p>
4	<p>工事用道路 土工部 路床について</p> <p>詳細図面の各工事用道路において横断図の断面数量表に「路床」が記載されています。標準横断ではこの範囲が表記されていませんが、土工基面1m下がりの範囲と考えます。この路床部の材料規定、施工品質規定は下方の路体と違い路床と考えるのでしょうか、ご教示ください。</p>	<p>詳細図の各工事用道路において、横断図の数量表に記載の路床の数量は路体の数量とお考えください。また、材料基準、品質管理規定についても、路体としてお考えください。交付図書の一部に誤りがありましたので、後日訂正いたします。</p>

5	<p>工事用道路の最終処置について</p> <p>特記 27-28 工事用道路 の定義に 「工事用道路の設置」とされています。単価項目 捨土掘削の区分内容から工事用道路Cは設置・撤去、他工事用道路DからJは設置のみと考えますが、よろしいでしょうか。</p>	<p>そのようにお考えください。</p>
6	<p>工事用道路 捨土掘削対象箇所について</p> <p>特記 27-28-2 種別 「捨土掘削」では、工事用道路 Hが対象とされています。詳細図から数量算出しますと約2800m³程度土量が不足となります。これからさらに高架下へ約4000m³捨土する計画でよろしいでしょうか。</p>	<p>土配計画については開示しませんので、貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
7	<p>構造物掘削 普通部 について</p> <p>石積高架橋 設計図 数量総括表に P1 埋戻しV=5492.5m³ との記載があります。この数量ですが、工事用道路E-2を存置の場合は、V=2500m³程度と考えます。客土掘削 数量と合わせ御確認ください。</p>	<p>石積高架橋P1の埋戻しについて、工事用道路Eの施工基面までとなるため、埋戻しはV=2,980.6m³となります。</p> <p>交付図書の一部に誤りがありましたので、後日訂正いたします。</p>